

西郷村事後審査型一般競争入札実施要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、西郷村が発注する一般競争入札に関し、入札参加資格の審査を入札執行後に行う方式（以下「事後審査型一般競争入札」という。）を実施するに当たり、西郷村財務規則（昭和61年西郷村規則第4号。以下「財務規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(対象)

第2条 事後審査型一般競争入札の対象は、西郷村物品購入等の指名競争入札参加資格及びその審査の申請時期並びに当該申請に必要な書類等に関する要綱（平成16年西郷村告示第102号。以下「物品購入等要綱」という。）で定める入札参加資格を必要とする入札のうち、村長が特に認めるものとする。

(入札参加資格)

第3条 事後審査型一般競争入札に参加できる者は、次の各号に掲げる要件を全て満たす者とする。

- (1) 物品購入等要綱で定める入札参加資格を有する者、又は入札参加資格を取得できる見込みのある者
- (2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号。以下「政令」という。）第167条の4第1項及び第2項の規定に該当しない者
- (3) 公告の日から入札の日まで西郷村から入札参加制限措置を受けていない者
- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更正手続開始の申立てをしている者若しくは申立てをなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申立てをしている者若しくは申立てをなされている者にあつては、当該手続開始の決定を受けた後に、この入札に参加することに支障はないと認められる者
- (5) 西郷村が締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成22年西郷村告示第157号）第3条に規定する排除措置対象者に該当しない者
- (6) 前号に掲げるもののほか、村長が必要と認める事項

(入札参加資格審査委員会)

第4条 契約主管課長は、事後審査型一般競争入札を執行しようとするときは、あらかじめ西郷村入札参加資格審査委員会（以下「審査委員会」という。）に、次の各号に定める事項を諮り、意見を聴くものとする。

- (1) 入札参加資格要件
- (2) 前号に掲げるもののほか、必要と認める事項

2 審査委員会の組織及び運営方法は、西郷村指名競争入札参加者の資格審査、指名等に関する要綱（平成24年西郷村告示第81号）によるものとする。

（入札参加資格要件の決定）

第5条 前条第1項第1号の入札参加資格要件は、審査委員会後、村長が決定するものとする。

（入札公告等）

第6条 村長は、政令第167条の6及び財務規則第112条の規定により公告するものとする。

2 前項の規定により公告したときは、西郷村ホームページに掲載するものとする。

（資格確認の申請）

第7条 入札に参加しようとする者は、次の各号に定める書類に必要事項を記載し、当該公告に規定する申請期限までに村長に提出しなければならない。

（1） 一般競争入札参加資格確認申請書（様式第1号）

（2） 前号に掲げるもののほか、当該公告に規定した入札参加資格確認審査書類等（以下「確認書類等」という。）

2 前項に規定する入札に参加しようとする者は、当該公告に規定した入札参加資格要件に該当し、法令等に違反する事実がないことを十分確認しなければならない。

3 前項に規定する確認を怠り、又は偽って入札に参加した者については、指名停止措置を行うことがある。

（入札参加資格の確認）

第8条 契約主管課長は、前条第1項の規定により入札参加の申請を受理したときは、次の各号に定める事項について確認を行うものとする。

（1） 西郷村入札参加資格者名簿の登載の有無

（2） 指名停止措置の適用の有無

（設計図書等の縦覧等）

第9条 契約主管課長は、公告後速やかに、設計書、図面、仕様書等（以下「設計図書等」という。）を縦覧し、西郷村ホームページで公表するものとする。

2 入札に参加しようとする者は、必ず設計図書等を西郷村ホームページからダウンロードした上で、入札に参加しなければならない。

（設計図書等に対する質問及び回答）

第10条 設計図書等の内容に関する質問がある者は、当該公告に示した質問受付期間内に、村長に対して質問書を提出するものとする。

2 前項の質問に対する回答は、当該公告に規定した方法により行うものとする。

（入札書の提出）

第11条 入札に参加しようとする者は、当該公告で示した入札日に、村指定の入札書に必要事項を記入の上提出するものとし、郵送による入札書の提出は原則として認めないものとする。

2 入札書の提出は再入札を含め2回までとし、提出した入札書の差替え又は撤回は認めないものとする。

(入札の執行)

第12条 契約主管課長は、開札後、次条に規定する落札候補者を決定するとともに、落札保留（後日落札者を決定するものをいう。）を宣言し、入札を終了するものとする。

(落札候補者の決定)

第13条 落札候補者の決定は、予定価格の範囲内で最低の価格をもって入札した者を落札候補者とし、落札を保留するものとする。

2 落札候補者となるべき同価格の入札者が2者以上いるときは、くじ引により落札候補者及び落札候補者以外の入札者の順位を決定するものとする。

3 落札候補者以外の入札者において、予定価格の範囲内で最低の価格をもって入札した者を次順位者とする。

4 落札候補者が決定したときは、当該落札候補者に対して落札候補者決定通知書（様式第2号）により通知するものとする。

5 落札候補者となるべき者がいないときは、入札を不調とする。

(入札参加資格要件の審査)

第14条 契約主管課長は、落札候補者から提出された確認書類等、設計図書等及び入札参加資格要件の審査（以下「資格審査」という。）を行うものとする。

2 契約主管課長は、前項に規定する資格審査の結果、落札候補者が入札参加資格要件を満たしていない（以下「入札参加不適合者」という。）と認めたときは、次順位者を落札候補者として順次資格審査を行い、入札参加資格要件を満たしている者が確認できるまで審査を行うものとする。

3 村長は、前項の規定による入札参加不適合者に対し、一般競争入札参加不適合通知書（様式第3号）により通知するものとする。

4 入札参加資格要件の審査は、開札日から起算して原則3日（閉庁日を除く。）以内に行うものとする。

(落札者の決定)

第15条 契約主管課長は、落札候補者が入札参加資格要件を満たしていると判断したときは、審査委員会に諮ったのち、当該落札候補者を落札者と決定し、落札決定通知書を通知するものとする。

2 前項の規定による審査委員会においては、次に各号に定める事項について審議するものとする。

(1) 落札候補者が入札参加資格要件を満たしており、その者を落札者とする。

(2) 入札参加資格要件の有無を確認した者のうち、落札候補者以外の者に入札参加資格要件を満たしている者がいないこと。

3 第1項の規定に基づき落札者を決定したときは、既に資格審査を終えた者を除き、他の入札参加者に対する資格審査は行わないものとする。

(入札参加不適合者への理由説明)

第16条 入札参加不適合者のうち当該判断に不服がある者は、第14条第3項の規定による通知の日から起算して原則5日（閉庁日を除く。）以内に入札不適合者と判断した理由について、書面により契約主管課長に対して説明を求めることができる。

2 契約主管課長は、前項の説明を求められたときは、受理した日から起算して原則3日（閉庁日を除く。）以内に書面により回答するものとする。

(共同企業体の取扱い)

第17条 共同企業体に関する取扱いについては、その都度当該公告に示すものとする。

(秘密の保持)

第18条 申請者から提出された確認書類等は、申請者に返還せず、また公表しないものとする。

(入札結果の公表)

第19条 入札結果の公表は、村の公共工事の発注見通し及び入札結果等の公表に係る要領に基づき公表するものとする。

(補則)

第20条 この基準に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和7年6月2日から施行する。